



こまくさ

令和7年度
12月23日 No53
仙北市立生保内小学校
学 校 報

教育目標～夢に向かって やさしく!かしこく!たくましく!

学 校 の 様 子 か ら

12月17日 「立志の授業」 (6年：総合的な学習の時間)

17日、本校の前PTA会長さんをお招きし、特別授業を行っていただきました。会長さんは「あきた立志教育支援プロジェクト」の活動メンバーとして、これまで県内の多くの学校で「立志の授業」を実践されており、子どもたちが自分の将来について真剣に考えるきっかけを提供してくださっています。



「立志の授業」

とは、自分の夢や目標に向かって主体的に生きる力を育むことを目的としたキャリア教育の一環で、秋田県内の小中学校で広く取り組まれているものです。本校の6年生も、ここ数年毎年この授業を受けており、今年も貴重な学びの機会となりました。

この日の授業では、「自分自身が人生経営の社長になる」というテーマのもと、将来どのような自分になりたいか、そのために今何をすべきかを考えたり、自分の良いところを見つけたりしました。自分の未来を明確にイメージすることや、支えてくれる人たちへの感謝の気持ちを持つことの大切さを学び、自分の目指すゴールに気づききっかけとなりました。

また、当日は「あきた立志教育支援プロジェク

ト」の活動メンバーからもう2人ゲストをお迎えし、計3人の講師の方々に授業をサポートしていただきました。

この「立志の授業」は、今回を含めて全2回実施される予定で、次回の授業と合わせて、2月に開催されるPTA行事にて、児童一人ひとりが「夢をかなえるための人生の設計図」を家の方々の前で発表することになっています。自分の未来を描き、言葉にするこの経験が、子どもたちにとって大きな一歩となることを願っています。

12月18日 「九九の学習」(2年：算数)

18日の3校時に、2年生の授業研究会が行われました。これまで学習してきた九九を活用し、「ものの数の数え方」について考える授業でした。子どもたちからは「同じ数のまとまりにすると分かりやすい」といった意見も出てきて、これまでの学びを生かして意欲的に取り組む姿が見られました。



九九は2年生の算数の中でも特に

大切な内容です。今日の学習を通して、日常生活の中でも九九を使う場面に気づき、その便利さを実感してくれることを願っています。日々の生活の中で使うことで、九九が定着していくことを期待しています。

(次のページに続きます)

たくさんの先生方に見守られる中で、子どもたちは少し緊張していた様子もありましたが、話をしっかり聞き、集中して学習に取り組む姿に大きな成長を感じました。

12月22日「指導主事訪問」(6年:家庭科)

指導主事の先生をお招きし、6年生の授業研究会が行われました。家庭科の「こんだてを工夫し

て」という単元では、これまでの学習や調理の経験を活かしながら、「家族の1食分の献立を考えること」「調理計画を立てて実際に調理すること」「家族と食事を楽しむこと」を目標に取り組みました。



今回の学習では、学校栄養士の千田先生にもゲストティーチャーとしてご参加いただき、栄養バランスの重要性や成長期に必要な栄養素について、専門的な視点からアドバイスをいただきました。子どもたちは、自分や家族の健康を考えながら、食材の選び方や調理の工夫に真剣に取り組んでいました。



この学習を通して、子どもたちは「食べること」が単なる栄養補給ではなく、健康な体をつくり、家族とのつながりを深める大切な時間であることに気づいたようです。今後も日々の食事を通して自分の体と向き合い、バランスの取れた食生活を意識して行ってほしいと思います。そして将来、自分や大切な人の健康を守る力として、この経験を活かしてくれることを願っています。



活躍

書道：穂湖書道教室
第九十三回全国書画展覧会
「書の部」



銀賞 2年 Y.K さん



金賞 2年 S.U さん



金賞 2年 H.S さん